

緑化委員会広報

今年も楽しく作業しましょう

委員長 林 勘治

今年も委員のみなさんと一緒に団地内外の住環境整備のため努力したいと思えます。

今年も第1次入居開始以来、20年目になります。緑化委員会は年度ごとに作業計画を立て、業者への業務発注をはじめ、委員会独自の樹木せん定、草刈り、肥料散布などを実施してきました。

業は成長の状況を判断しながら業者と相談して樹木の選定をしています。

今年の中高木のせん定は2号棟の駐車場と東斜面に植えられた樹木を中心に整備します。作業は1月下旬から始まりました。今年も会員の皆様と楽しく作業しながら親睦を深めたいと思います。一層のご協力をお願いします。



歩道脇のナンキンハゼせん定

2月の定例作業で16本丸刈り

団地東側歩道脇のナンキンハゼのせん定作業を2月11日に実施した。

道路沿いに植えられた街路樹のハナミズキと並行して16本植えられているが、枝が電線に触れるため毎年、年明けの恒例行事として実施している。

今年は大雪のため予定していた定例作業日が2回も延期になったが、都合をつけて17人の委員が駆けつけた。はしごを使って樹木に登り、足を掛けての大掛かりな作業だったが、玄人はだしの熟練委員さんが手際よく次々と枝を切り落とす。



ナンキンハゼのせん定と枝の搬出作業

た。

ナンキンハゼは初夏に黄色い花を咲かせ、秋には葉が真っ赤に紅葉する。街路樹などに多く植えられているが、環境に強く成長が早い。

団地東側のナンキンハゼも毎年、丸坊主にしても1年で新芽が一気に成育し、樹木全体がまたたく間に生い茂る。

花が地味な上、街路樹のハナミズキに隠れて見栄えがよくないが、新緑から紅葉にかけて季節感は十分楽しませてくれる。

丸坊主になったナンキンハゼだが、7月ごろには青々とした樹木によみがえる。

今年度の中高木せん定作業

東側斜面を中心に実施

緑化委員会は2月の定例作業後に今年度3回目の委員会を開催。委員長、田上会計担当が今後の植栽計画と今年度の予算支出状況などを報告、了承した。

今後の植栽計画によると、①造園業者「風雅苑」による中高木のせん定作業が1月下旬から始まったが、今年度は2号棟東側の駐車場と斜面側を集中的に



12月3日(月) 管理事務所前の花壇用のビオラ百株を南大沢の花屋で購入。林、高村、香村、富田。

定例作業報告

(11月～2月)

11月4日(日) 役員会。

11月18日(日) 市民清掃デー。緑化委員会は定例作業をやめ、委員各自が単独で清掃デーに参加。

12月2日(日) 定例作業。東側、南側の斜面整備と一部樹木のせん定。大量の枯葉を搬出。

12月9日(日) 午前中、団地の年末一斉大掃除。午後、緑化委員会全体会議を開催。会議後に忘年会。

12月24日(日) 恒例の団地住民有志による餅つき会。30世帯超が参加、もち米30キロを約6時間掛けてつき上げた。

08年1月 定例作業は正月休み。

実施する。

②予算支出状況を勘案した結果、中高木せん定の範囲拡大が可能と判断、近く業者に追加発注する。

2月3日(日) 役員会。定例作業は大雪で10日に延期。

③3年前から始まった生垣補植工事は昨年末までにほとんど終了。今後、被害が出た箇所は随時修復する方針に切り替える。

2月10日(日) 役員会。大雪で再度、作業延期。

④鶴牧6アダプト会の新会長に香村義隆氏を選出。

2月11日(月) 東側のナンキンハゼのせん定作業。作業後に緑化委員会全体会議と新年会開催。

12月3日(月) 管理事務所前の花壇用のビオラ百株を南大沢の花屋で購入。林、高村、香村、富田。12月5日(水) プランターにビオラの一斉花植え作業。高村、香村、富田。12月9日(日) 午前中、団地の年末一斉大掃除。午後、緑化委員会全体会議を開催。会議後に忘年会。12月24日(日) 恒例の団地住民有志による餅つき会。30世帯超が参加、もち米30キロを約6時間掛けてつき上げた。08年1月 定例作業は正月休み。2月3日(日) 役員会。定例作業は大雪で10日に延期。2月10日(日) 役員会。大雪で再度、作業延期。2月11日(月) 東側のナンキンハゼのせん定作業。作業後に緑化委員会全体会議と新年会開催。



鶴牧・奈良原公園から見た富士山（1月25日）

富士山がきれいな冬の季節

鶴牧地区の景勝地

冬の季節は富士山が1年中で最もきれいに眺められる時期になる。晴れた日、雪に覆われた雄大な富士の姿を眺める気分は最高だ。

国土交通省は3年前に富士山景勝地として「関東の富士見百景」を選定し、多摩市から「パルテノン多摩」と「鶴牧西公園」の2地点が選ばれた。「パルテノン多摩」は大階段を上った神殿を模したパゴラ（緑廊）付近、「鶴牧西公

園」は人口池付近。しかし残念なことに「パルテノン多摩」の地点は最近、相次いで建設された高層マンションの影響で全く眺望できなくなった。鶴牧地区の景観が最近大きく変わらうしていることを実感した。これらの場所は気象状況さえよければ、夕日が富士山頂の真ん中に沈む「ダイヤモンド富士」が見られる景勝地でもある。

「関東の富士見百景」には選定されなかったが、桜並木の名所で知られる鶴牧地区の奈良原公園からの富士の景観は最高。ここでの「ダイヤモンド富士」の眺望日は1月29日と30日でしたが、あいにくの天候で見られませんでした。

次回の眺望日は11月12日—13日です。

年末恒例の餅つき会

30世帯が参加

年末の恒例行事になった団地住民有志による餅つき会が昨年12月24日に行われた。雨天で予定を1日延期しての開催だったが、約30世帯を超える住民が参加した。

作業は午前8時すぎから開始し、約30キロのもち米を約6時間かけてつき上げられた。

今回は丸餅をやめて作業の楽な板餅に統一した。子どもたちも参加し、お父さんと一緒に餅をついたり、餅をまるめるなどしてイベントを楽しんだ。写真。終了後、料理長が丹精込めて調理した特製けんちん汁を食べながら親睦を深め歓談した。



資源回収や公園清掃

はらっぱ子ども会

入居開始後、間もなく有志のお母さんたちが「はらっぱ子ども会」を立ち上げ、地域の資源回収やマロニエ公園の清掃活動を通じて団地内の子どもの親睦を図ってきました。

現在、29世帯34名の会員が参加し、マロニエ公園の清掃活動を毎月実施しているほか、お母さんたちの協力で季節ごとにいろいろなイベントを開催しています。

昨年は緑化委員会から夏祭り用のジャガイモ掘りに参加してもらいました。土の中から出てくる大きなジャガイモや虫の出現に歓声を上げる子どもたちの輝く姿を見ることができ、感



謝しています。

少子化で会員数も減少傾向にありますが、子どもたちは元気一杯です。これからもホームタウン鶴牧の一員として温かく見守ってくださるようお願いいたします。

（太楽 典子）

編集後記

・南斜面の小さな白梅がほころび始めました。風雅苑による中高木のせん定も1カ月の日程で始まっています。

・今季号はナンキンハゼのせん定作業と今後の植栽計画を中心に編集しました。

・中学校の同級会で久しぶりに訪れた諏訪大社の思い出話を宮坂委員に寄稿していただきました。

（編集担当 富田）

1月20日に郷里で中学校の同級会があり懐かしい思いで参加しました。同級生47名中、参加者は40数年ぶりでお会いました。恩師も含め25名でした。

私の故郷下諏訪町は諏訪湖の北側にある諏訪大社下社のお膝元です。下社は秋宮と春宮からなり、祭神が季節によって遷座するのですが、年を通じて参詣人が訪れるの

は秋宮が圧倒的です。私の生家も、卒業した下諏訪中学校もその秋宮から半径3百メートル程の距離にあります。

久しぶり諏訪大社参詣

中学校の同級会に参加

下諏訪は甲州街道の終点で、中仙道との分岐点であるため宿場町としても栄え、昔は秋宮の表参道である大社通りの両側に土産物店や飲食店

が軒を並べていたのですが、私が育った戦後はすっかり寂れて、昔日の面影はありませんでした。

が軒を並べていたのですが、私が育った戦後はすっかり寂れて、昔日の面影はありませんでした。

が軒を並べていたのですが、私が育った戦後はすっかり寂れて、昔日の面影はありませんでした。